

【終了報告書】

研修先大学/ 活動先機関名	マギル大学	参加 プログラム名	マギルプログラム	国名	カナダ
氏名		学籍番号		学科	総合政策学部
参加時の 学年	2年	参加費用 (日本円での概算)	約100万円		
参加日程	2024年 7月 6日 ~ 2024年 7月 28日 (3 週間)			記入年月日	2024年 10月 30日

① 参加前について

研修・活動に参加する目標は何でしたか。

海外でネイティブが話す英語を経験すること、大学を卒業するまでに1度は外国に行ってみようという思いから参加した。ネイティブが話す英語を少しでも理解できるようになり、海外での生活を体験することで視野を広げることができるのではないかと思った。

② プログラムについて

研修・活動の感想

平日は9時半から12時まで現地の先生による英語の授業で、昼休憩の後に現地の学生とモントリオールのスポットを回るというスケジュールだった。午前の授業は英語でモントリオールの有名な場所や気候、食べ物など様々なことを学んだ。またしばしば授業の内容が午後に観光するスポットの内容で、事前知識をつけることでよりそのスポットを楽しむことができた。午後は現地の学生がモントリオールの様々な場所を案内してくれて、その際に会話をすることがたくさんあった。とてもいい経験ができたと思う。

研修・活動以外の部分についての感想

マギルプログラムでは寮で生活をするのだが、その際分からないことは現地の学生にも助けを求めて解決することがいくつかあった。私も洗濯で分からないことがあった時、現地の親切な学生が助けてくれたことがあった。津田の学生と2人で1つの部屋をまた、プログラムに組み込まれた活動は16時までだったので、その後寮周辺のショッピングモールやカフェに行くのが楽しかった。また、カナダはフランス語も公用語として認められており、町中の表示が英語とフランス語の2種類の言語で構成されているのは日本にはない光景だったので面白かった。

現地学生との交流について教えてください。 ※交流がなかった場合は、空欄で構いません

平日の午後は5~6人のグループにつき1人現地の学生がついてモントリオールの色々な場所を巡った。その際彼らと英語でコミュニケーションを取ることで英語力が向上した。週末のオタワやケベックシティへの小旅行にも彼らがガイドしてくれた。また寮にも津田塾生の寮生活をサポートしてくれる学生がおり、朝食と夕食、夕食後のアクティビティの際は会うことができたため、現地の学生とコミュニケーションを取る機会はたくさんあった。

③ 参加の成果について

今回の参加を経て、ご自身の中での学習面・精神面の成果があれば教えてください。

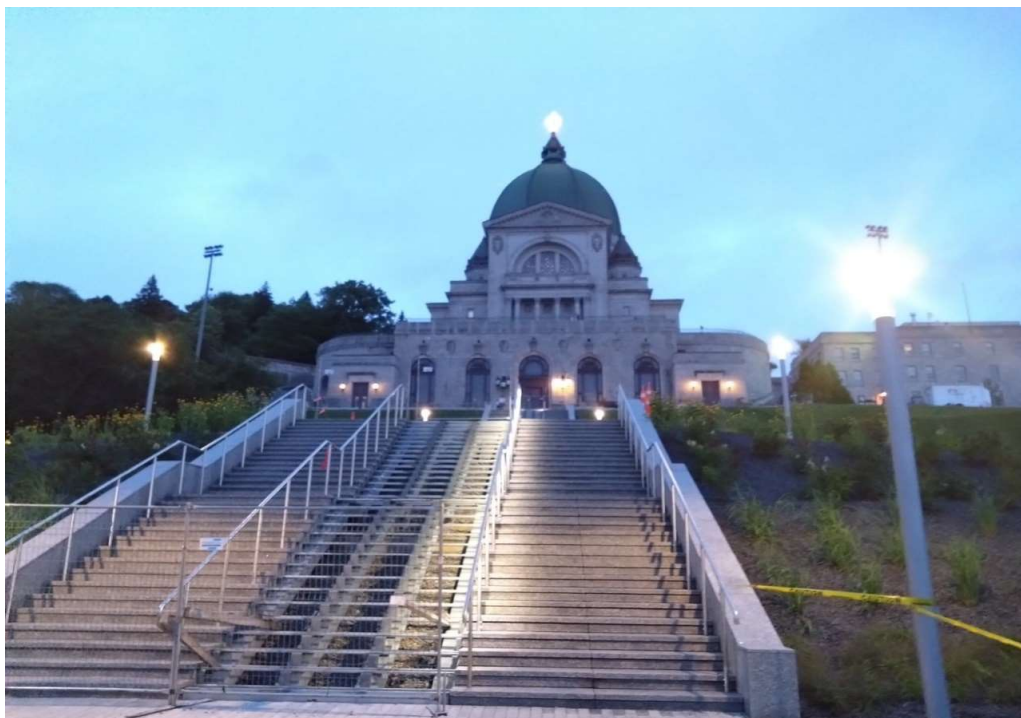
初めて海外に行って、ほぼ学生のみで3週間過ごしたという経験は間違い無く自分の思考や視野を広げてくれた。英語力も確かに身についた上に、普段磨くことの難しいスピーキング力をとても鍛えられたと思う。英語学習への意欲も向上し、もっと英語で円滑なコミュニケーションを取れるようになりたいという思いが強くなった。

④ その他

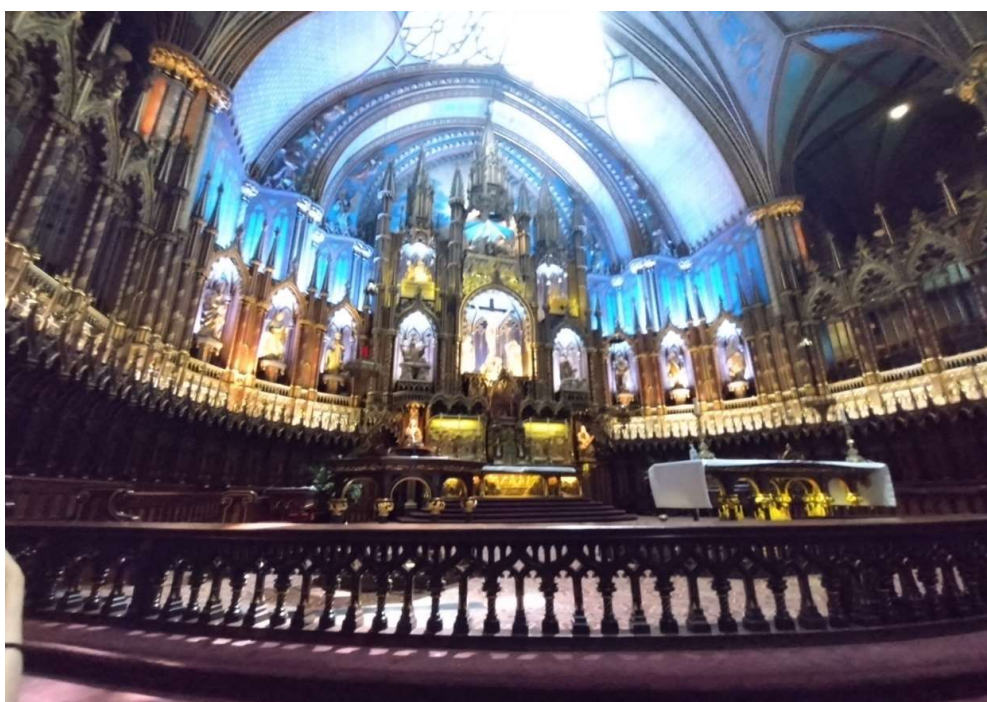
その他、気づいたことや今後参加する方へのメッセージがあれば記入してください。

現地の人達とコミュニケーションを取る機会はたくさんあるので積極的に話しかけに行くといいと思います。向こうもこちらとコミュニケーションを取りたいと思ってくれているため、拙い英語でも理解しようとしてくれます。また、日曜日や午後の活動が終わった後は自由時間のため、色々なところに行ってみるといいと思います。モントリオールは乾燥しており、朝夜は肌寒い日も多いため体調管理をしっかりとってください。

国際センターのHPに掲載してもよい写真があれば添付してください。キャプションもつけてください。



夕食の後現地の学生と一緒に見に行った建物



モンリオール大聖堂